

# 令和2年度

自 令和2年 4月 1日  
至 令和3年 3月31日

## 事業報告

(総括)

令和2年度は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、外出・移動の自粛や新しい生活様式・働き方が要請されるなど我が国の国民生活や経済社会活動は大きな制約を受け、諸活動が停滞し社会全般に甚大な影響を被った。

当初大きな落ち込みがみられた我が国経済も、昨年5月の緊急事態宣言の解除後は全般的に緩やかな回復基調に転じたものの、その後は感染の抑制と再拡大を繰り返す傾向にあり、先行きは予断を許さない状況にある。

物流業界は、一部業種を除くと全般的に荷動きは低調で、サプライチェーンの混乱等の事態も見られるなど、新型コロナウイルスの感染拡大は大きな影を落としたが、コロナ禍のもとにあっても、極力業務を継続し物流を止めないことに注力したことで、物流は我が国の国民生活や経済活動を支える重要な社会インフラであり、そこで働く物流従事者はエッセンシャルワーカーであるという認識が改めて浸透してきた。

物流連の事業活動は、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、諸会議の規模縮小・書面開催、海外調査の中止など種々の影響を受けたが、一方で、Webを活用した会議、イベントの開催など、ウイズコロナ時代の活動のありかたについて模索しながら事業活動を進めてきた。

第一に、「物流を等身大で見ていただき、その重要性を認識していただく」活動として、会員企業のご協力のもと、初めてWebも活用して、学生を対象としたインターンシップ・物流業界研究セミナー、大学寄附講座等を実施した。引き続き、コロナの感染状況等をみながら、会員企業のニーズを踏まえ、若い世代を対象とした取組みの更なる充実を図ることとする。

第二に、「国際的な課題への取組み強化」については、海外物流戦略ワーキングチームにおいて、会員企業の現地駐在幹部と会場をオンラインで結び、海外の生の情報を講演していただくという新たな取組みを行うなど、会員企業のポストコロナに向けた新たな海外戦略の一助となるべく取り組んだ。

第三に、「社会インフラとしての物流機能強化」の取組みでは、物流企業における新型コロナウイルス感染症への対応動向の調査を行い、BCPに重きをおいて、コロナの影響と対応、今後に向けての課題と方向性等について事業者の声を取りまとめた。

第四に、「物流環境対策の取組み」については、グリーン化の取組みを奨励するため、物流環境大賞の表彰、モーダルシフト取組み優良事業者公表・表彰等を行ったほか、時代にマッチした賞とするため物流環境大賞の各部門賞の見直し等を行った。

物流業界を取り巻く環境は、労働力不足の深刻化や働き方改革等により一層厳しくなることが予想されるが、一方で、荷主の理解や社会的評価は近年大きく変化してきており、殊にコロナ禍のもとで物流に期待される役割は極めて大きくなっている。依然厳しい環境にあるが、日本の経済社会がコロナ禍のため変革を迫られている今こそ、ポストコロナを

見据えた物流のあり方を展望しつつ、官民連携して新たな物流の姿を構築していく好機ともいえる。

物流連の活動の多くは、国土交通省の公共交通・物流政策審議官部門との緊密な連携のもと進めてきており、国の次期総合物流施策大綱の推進などを始め、官民連携の活動を更に強化することとする。

令和2年度の活動について、次頁以降に具体的に取りまとめた。

# 目次

I. 法人の状況に関する重要な事項	1 P
1. 業務活動の推進（委員会活動等）	1 P
（1）基本政策委員会関係	1 P
（2）人材育成・広報委員会関係	2 P
（3）国際業務委員会関係	6 P
（4）物流環境対策委員会関係	10 P
（5）経営効率化委員会関係	13 P
2. 公益目的支出計画による事業活動	17 P
実施事業＜継続事業＞に関する事業報告	17 P
3. 広報・情報提供・出版事業等の活動	18 P
（1）会員及び外部への情報提供等	18 P
（2）出版事業	20 P
（3）研修事業	20 P
（4）物流EDI事業	20 P
（5）サイバーセキュリティ関連	20 P
（6）2020欧州ロジスティクス視察団の派遣	21 P
4. 総会・役員会の開催状況	21 P
（1）総会	21 P
（2）正副会長会議	21 P
（3）理事会	21 P
5. 会員の異動	23 P
II. 業務の適正を確保するための体制の整備についての決定等	23 P
III. 事業報告の付属明細書について	23 P

# I. 法人の状況に関する重要な事項

## 1. 業務活動の推進（委員会活動等）

### (1) 基本政策委員会関係

#### ①第27回基本政策委員会

開催日：令和2年9月25日（金）

委員会開催に先立ち、講演会を開催した。

第一部「講演会」

- ・会場：全日通霞が関ビル8階会議室B
- ・出席者：61名（実参加：23名、オンライン参加：38名）
- ・講師：国土交通省総合政策局物流政策課長 阿部竜矢氏
- ・テーマ：「最近の物流政策等について」

第二部「委員会」

- ・会場：全日通霞が関ビル8階会議室C
- ・出席者：16名
- ・議題：
  - a. 令和3年度概算要求の概要等（公共交通・物流政策審議官部門）について
  - b. 令和2年度上期活動報告について
  - c. その他

委員会では、最初に、阿部物流政策課長から、「令和3年度概算要求の概要等」について説明があり、これを受けて各委員より活発な質疑応答があった。

続いて、事務局から、物流連の令和2年度上期の活動報告の概要、各委員会の具体的な活動状況等について説明がなされ、引き続き官民連携による課題解決に向けた取組みの重要性が確認された。

#### ②第28回基本政策委員会

開催日：令和3年3月16日

委員会開催に先立ち、講演会を開催した。

第一部「講演会」

- ・会場：全日通霞が関ビル8階大会議室
- ・出席者：68名（実参加：12名、オンライン参加：56名）
- ・講師：国土交通省総合政策局物流政策課長 阿部竜矢氏
- ・テーマ：「最近の物流政策等について」

第二部「委員会」

- ・会場：全日通霞が関ビル8階大会議室
- ・出席者：13名

- ・議 題：
  - a. 令和3年度物流関係予算案等について
  - b. 物流連の令和3年度事業計画（案）について
  - c. その他

委員会では、最初に、阿部物流政策課長から「令和3年度物流関係予算案等」について説明があり、これを受けて各委員より活発な質疑応答があった。

続いて、事務局から、物流連の令和3年度事業計画案の説明がなされ、質疑応答の後承認された。

## (2) 人材育成・広報委員会関係

### ①第1回人材育成・広報委員会

- ・開催日：令和2年10月19日（月）
- ・会 場：砂防会館 別館B 3階会議室〈六甲〉
- ・出席者：20名（実参加：11名、オンライン参加：9名）
- ・議 題：
  - a. 令和2年度 上期活動報告
  - b. 「第7回物流業界インターンシップ東京」及び「第1回物流業界インターンシップ大阪」の活動報告
  - c. 令和2年度 下期活動計画

事務局から上期活動報告として、「物流業界インターンシップ」、「大学学内セミナー」等について報告があり、意見交換が行われた。本インターンシップについては、終了後のアンケート結果から、参加学生の物流業に対する理解が深まり、かつ就職志望も強まったことが読み取れる旨の説明があり、本事業を会員企業と共同で継続実施していく重要性が確認された。

最後に、下期に取り組む事業として、事務局から「令和2年度物流業界研究セミナー」、「大学寄附講座」等について説明を行った。

### ②第2回人材育成・広報委員会

- ・開催日：令和3年3月11日（木）
- ・会 場：全日通霞が関ビル8階 会議室
- ・出席者：15名（実参加：9名、オンライン参加：6名）
- ・議 題：
  - a. 令和2年度 年間活動報告
  - b. 「第7回物流業界研究セミナー東京」、「第3回物流業界研究セミナー大阪」、「第1回物流業界研究Webセミナー」の活動報告
  - c. 令和3年度の活動計画について

事務局から年間活動報告として、上期の活動の他、冬場に開催された「物流業界研究セミナー東京・大阪」「物流業界研究 Web セミナー」や、「大学寄附講座」や「大学学内セミナー」の実施、会員の若手で構成する「物流いいところみつけ隊」の活動状況等の報告が行われ、業界研究セミナーについては、継続して実施していくことの重要性が確認された。

最後に、事務局から令和3年度の活動計画案について説明があり、了承された。

### ③「第7回物流業界インターンシップ 東京」及び「第1回物流業界インターンシップ 大阪」

主に就職活動を控える学生に、物流業の社会的重要性や先進性などに対する理解を深め、業界の魅力を感じてもらうことを目的として、毎年開催している。

今年度は新型コロナウイルス感染症対策を講じたうえで開催したが、初めて大阪で開催するとともに、地方からの参加やコロナ禍のもとでの開催となることを考慮し、初日の合同研修を初めてオンラインでも実施した。

初日の合同研修では、参加企業等による合同企業説明会に加えて、物流連による講演会、業界の若手によるパネルディスカッション等を行った。2日目以降は、学生の希望も踏まえ、各参加企業においてインターンシップを行った。

全体として、参加学生は約665名、参加企業数は23社1団体だった。

#### 【第7回物流業界インターンシップ東京】

##### a. 初日の合同研修

- ・開催日 8月31日（月）
- ・会場 ベルサール秋葉原
- ・参加学生数 109名
- ・参加企業数 15社

\* この他、初日の合同研修はオンラインでも実施（後述）

##### b. インターンシップ（学生による企業訪問）

- ・開催日 9月8日（火）～18日（金）（この中から1人1～3社参加）
- ・会場 各参加企業が指定する事業拠点等、またはオンラインにて実施
- ・参加学生数 295名
- ・参加企業数 19社（延べ受入学生数485名）

#### 【第1回物流業界インターンシップ大阪】 ※初開催

##### a. 初日の合同研修

- ・開催日 8月24日（月）
- ・会場 ハービスHALL
- ・参加学生数 116名
- ・参加企業数 7社1団体

\* この他、初日の合同研修はオンラインでも実施（後述）

b. インターンシップ（学生による企業訪問）

- ・開催日 9月1日（火）～9日（水）（この中から1人1～3社参加）
- ・会場 各参加企業が指定する事業拠点等、またはオンラインにて実施
- ・参加学生数 196名
- ・参加企業数 13社（延べ受入学生数331名）

【WEBによる初日の合同研修（東京・大阪共通）】 ※初開催

- ・開催日 8月22日（土）
- ・参加学生数 約440名
- ・参加企業数 22社1団体

※参加企業等一覧（50音順）

鴻池運輸（株）/佐川急便（株）/佐川グローバルロジスティクス（株）/山九（株）/（一社）国際フレイトフォワードーズ協会/鈴与（株）/西濃運輸（株）/セイノースーパーエクスプレス（株）/センコー（株）/トナミ運輸（株）/（株）ニチレイロジグループ本社/（株）日新/日通商事（株）/日鉄物流（株）/日本貨物鉄道（株）/日本梱包運輸倉庫（株）/日本通運（株）/日本郵船（株）/日本自動車ターミナル（株）/日本パレットレンタル（株）/日本ロジテム（株）/福山通運（株）/丸全昭和運輸（株）/ヤマトホールディングス（株）

④第7回物流業界研究セミナー東京、第3回物流業界研究セミナー大阪及び、第1回物流業界研究Webセミナーの開催

就職活動を控える学生に、物流業の業界研究をすることができる機会を提供するため、多様な業種の会員企業の参加を得て、物流業界研究セミナーを開催した。

今年度は新型コロナウイルス感染症対策を講じたうえで開催したが、地方からの参加やコロナ禍のもとでの開催となることを考慮し、初めてオンラインでも開催した。

当日は、参加企業が会社概要や経営戦略、提供する物流サービス等の企業情報を説明するほか、物流連による講演会、業界の若手によるパネルディスカッション等を行った。

【第7回物流業界研究セミナー東京】

- ・開催日 令和3年1月17日（日）
- ・会場 東京都立産業貿易センター 浜松町館
- ・参加学生数 152名
- ・参加企業数 22社



### 【第3回物流業界研究セミナー大阪】

- ・開催日 令和3年2月6日（土）
- ・会場 ハービスHALL
- ・参加学生数 148名
- ・参加企業数 9社

### 【第1回物流業界研究Webセミナー】 ※初開催

- ・開催日 令和3年1月30日（土）、2月9日（火）
- ・参加学生数 1月30日（土）約510名、2月9日（火）約290名
- ・参加企業数 1月30日（土）24社、2月9日（火）23社

#### ※参加企業等一覧（50音順）

F-LINE（株）/キリングroupプロジスティクス（株）/ケイヒン（株）/鴻池運輸（株）  
/佐川急便（株）/佐川グローバルロジスティクス（株）/山九（株）/（株）商船三井  
/鈴与（株）/西濃運輸（株）/セイノースーパーエクスプレス（株）/センコー（株）  
/第一貨物（株）/東陽倉庫（株）/東洋埠頭（株）/トナミ運輸（株）/（株）ナカノ商  
会/（株）日陸/（株）ニチレイロジグループ本社/（株）日新/日通商事（株）/日鉄物  
流（株）/日本貨物鉄道（株）/日本梱包運輸倉庫（株）/日本通運（株）/日本郵船（株）  
/日本自動車ターミナル（株）/日本ロジテム（株）/（株）日立物流/福山通運（株）  
/（株）丸運/丸全昭和運輸（株）/三菱倉庫（株）/安田倉庫（株）/（株）ヤマタネ  
/ヤマトホールディングス（株）/ユーピーアール（株）

### ⑤「ロジスティクスPRグループ2020～物流いいところみつけ隊」会合の開催

会員企業・団体の若手社員で構成する物流いいところみつけ隊とともに、計4回の会合を行い、インターンシップ・業界研究セミナーの準備、打合せ、意見交換等を行った。

- ・開催日：令和2年7月3日（金）、10月9日（金）、12月7日（月）  
令和3年3月30日（火）
- ・会場：全日通霞が関ビル8階会議室  
※オンライン併用（12月7日、3月30日は完全オンライン開催）

### ⑥令和2年度物流連 大学寄附講座

物流各界を代表するトップマネジメントが、それぞれの立場から物流事情を講義する大学寄附講座を毎年実施している。

上期は青山学院大学での開講を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。下期は横浜国立大学にて、令和2年10月15日から令和3年1月28日まで、毎週木曜日にオンラインにより開講した。

## ⑦大学学内セミナーへの講師派遣

主に大学3年生を対象とした業界研究として各大学が実施する「学内セミナー」に参加し、物流連が「物流業界の現状と求める人材像について」講演した。参加学生に物流業界、物流企業の社会的重要性や先進性について幅広い理解を深めてもらうことを目的とする取組みである。

大正大学	7月15日(水)	オンラインにより実施
関西外国語大学	7月16日(木)	オンラインにより実施
杏林大学	11月5日(木)	動画の配信により実施
関西外国語大学短期大学部	12月5日(土)	動画の配信により実施

## ⑧現場で活躍する女性の紹介

物流業界における女性の活躍を広く社会に発信するため、現場で働く女性社員にインタビュー形式で話を伺い、業務の内容や物流業でのやりがい、今後の抱負等を取りまとめ、会報や物流連のホームページで紹介している。

山九(株) : 会報「Grow」令和2年9月発行の93号、及びHP

日鉄物流(株) : 会報「Grow」令和2年12月発行の94号、及びHP

## ⑨中学生職場体験の受け入れ

従前から積極的に受け入れを行っており、本年度の実績は以下の通りである。

- ・受け入れ件数 : 1件(白鷗高等学校附属中学校)
- ・受け入れ人数 : 2名

## ⑩物流見学ネットワーク及び物流学習の受け入れ

若い世代への物流業の認知度向上を目指して実施してきたが、本年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により実施を見合わせた。

## (3) 国際業務委員会関係

### ①令和2年度第1回国際業務委員会

開催日 : 令和2年10月28日(水)

委員会開催に先立ち、講演会を開催した。

第一部「講演会」

- ・会場 : 学士会館202号室
- ・出席者 : 58名(実参加 : 26名、オンライン参加 : 32名)
- ・講師 : 国士館大学 教授 助川成也氏
- ・テーマ : 「ASEANを中心としたコロナ禍のサプライチェーン」について

## 第二部「委員会」

- ・会 場：学士会館 202号室
- ・出席者：34名（実参加：26名、オンライン参加：8名）
- ・議 題：
  - a. 最近の国土交通省の国際物流政策の取り組みについて（国土交通省）
  - b. 令和2年度上期活動計画および下期活動計画について

委員会では、国土交通省大臣官房谷合参事官(国際物流)から、最近の国土交通省の国際物流政策の取組みと本年度後半の国際物流政策の予定について説明が行われた。その後、事務局から令和2年度上期の活動報告と下期の活動計画について説明が行われた。下期は、web を活用して会員企業の海外駐在員からのヒアリングを行うこと、コールドチェーン物流サービス規格の普及の取組みに引き続き参画すること等の説明が行われ、下期活動計画は原案通り了承された。

## ②令和2年度第2回国際業務委員会

開催日:令和3年3月18日(木)

委員会開催に先立ち、講演会を開催した。

### 第一部「講演会」

- ・会 場： 学士会館 202号室
- ・出席者： 31名（実参加：19名、オンライン参加：12名）
- ・講 師：読売新聞 深澤淳一氏
- ・テーマ:「ミャンマークーデター 軍の狙いと日本企業への影響/泰緬鉄道ビルマ側ルートを21世紀の平和と繁栄の物流道路に」について

### 第二部「委員会」

- ・会 場:学士会館202号室
- ・議 題:
  - a. 最近の国土交通省の国際物流政策の取り組みについて(国土交通省)
  - b. 令和2年度活動報告及び令和3年度活動計画について

委員会では、国土交通省大臣官房谷合参事官(国際物流)から最近の国土交通省の国際物流政策の取組み及び今後の予定について説明が行われた。

最後に、事務局から令和2年度の活動報告及び令和3年度の活動計画について説明が行われた。次年度は、web を活用して、陸のアセアン諸国を中心に、会員企業の現地駐在員等からのヒアリングを行うこと等の説明が行われ、活動計画は原案通り承認された。

## ③海外物流戦略ワーキングチームの活動

国際業務委員会では、国土交通省幹部を交えたワーキングチームを結成し、海外

において我が国物流事業者がどのような問題を抱えているか、どのような要望を持っているかを把握し、一企業を越える横断的問題について検討を行うため、定期的に会合を開催している。

本年度は、コロナ禍の影響で、海外に調査団を派遣して物流実態調査を行うことができなかった。このため、新たな試みとして、下期の第2回会合と第3回会合において、会員企業の海外駐在幹部と会議場をオンラインで結び、海外の生情報を講演していただき、現地と会議場で質疑を交わすことにより最新情報を会員間で共有する取組みを行った。

#### \*第1回ワーキングチーム会合

開催日：令和2年10月13日（火）

##### 第一部「講演会」

- ・会場：学士会館202号室
- ・出席者：77名（実参加：25名、オンライン参加：52名）
- ・講師①：日本貿易振興機構(JETRO)海外調査部アジア大洋州課 北見創氏
- ・テーマ：「コロナ禍でのASEANの状況」
- ・講師②：日本貿易振興機構(JETRO)海外調査部中国アジア課 方越氏
- ・テーマ：「新型コロナウイルス禍のASEAN及び中国の状況について（中国編）」

##### 第二部「ワーキングチーム会合」

- ・会場：学士会館202号室
- ・出席者：29名（実参加：25名、オンライン参加：4名）
- ・議題：
  - a. 最近の国土交通省の国際物流政策の取組み(国土交通省)
  - b. 2020年度国際業務委員会及び海外物流戦略ワーキングチームの活動について(事務局)

#### \*第2回ワーキングチーム会合

開催日：令和2年12月17日（木）

##### 第一部「講演会」

- ・会場：学士会館210号室
- ・出席者：29名（実参加：24名、オンライン参加：5名）
- ・講師：日通国際物流(中国)有限公司 経営戦略室 室長 廣田靖氏
- ・テーマ：「ニューノーマル時代の中国物流業者として、どう向き合ってゆくか」

##### 第二部「ワーキングチーム会合」

- ・会場：学士会館210号室
- ・出席者：29名（実参加：24名、オンライン参加：5名）
- ・議題：

- a. 最近の国土交通省の国際物流政策の取組み(国土交通省)
- b. 海外物流戦略ワーキングチームの活動について(事務局)

**\* 第3回ワーキングチーム会合**

開催日：令和3年2月25日（木）

第一部「講演会」

- ・会 場：学士会館201号室
- ・出席者：31名（実参加：19名、オンライン参加：12名）
- ・講師：KONOIKE ASIA (THAILAND) CO.,LTD. 社長 村上直弘氏
- ・テーマ：「タイの物流事情」

第二部「ワーキングチーム会合」

- ・会 場：学士会館201号室
- ・出席者：31名（実参加：19名、オンライン参加：12名）
- ・議題：
  - a.最近の国土交通省の国際物流政策の取組(国土交通省)
  - b.令和3年度海外物流戦略ワーキングチームの活動について(事務局)

**④コールドチェーン物流サービスの規格等の普及に向けた取組み**

我が国発のコールドチェーン物流サービス規格であるISO国際規格(BtoB)と日本規格協会規格(BtoC)については、それぞれ昨年5月と6月に発行され、これを受けて、規格自体の普及および認証制度の整備に向けた取組みが官民連携して進められている。

物流連は、ISO国際規格の普及のための検討委員会の事務局を務めるとともに、日本規格協会規格の普及事業や認証制度に関わる検討体制に参画するなど、国等と連携して両規格の普及等に取り組んできた。

**⑤国土交通省が海外で行う物流政策対話及びワークショップへの参加**

国土交通省では、物流の課題に対する相互理解を目的としたアセアン各国との二国間による政府間対話及び対象国の物流事業者の技能向上を目的としたワークショップを毎年開催している。令和2年度は、1月にインドネシアとの間で物流政策対話及びワークショップがオンラインで開催され、物流連もこれに参加し意見交換等を行った。

## (4) 物流環境対策委員会関係

### ①令和2年度第1回物流環境対策委員会

開催日：令和2年9月16日

委員会開催に先立ち、講演会を開催した。

#### 第一部【講演会】

- ・会 場：全日通霞が関ビル8階大会議室B
- ・出席者：54名（実参加：22名、オンライン参加：32名）
- ・講 師：西濃運輸（株）取締役 ロジスティクス担当 兼国際部担当  
兼東京本社担当 服部千太郎氏
- ・テーマ：「特別積合せ貨物運送事業における路線便の『運び方改革』」

#### 第二部【委員会】

- ・会 場：全日通霞が関ビル8階大会議室C
- ・出席者：22名（実参加：18名、オンライン参加：4名）
- ・議 題：
  - a. 令和2年度上期の活動報告について
  - b. 令和2年度下期の活動計画（案）について
  - c. 物流環境大賞表彰規程の改正（案）について

委員会では、上期の活動について、第21回物流環境大賞の選定結果などが報告された後、下期の活動について、第7回モーダルシフト最優良事業者公表・表彰の表彰式を11月中旬に開催すること、第22回物流環境大賞の募集を12月より開始することなどが説明され、活動計画は原案通り了承された。

次に、物流環境大賞表彰規程の見直しについて審議が行われ、原案を一部修正する形で了承された。

### ②第2回物流環境対策委員会

開催日：令和3年3月10日

委員会開催に先立ち、講演会を開催した。

#### 第一部【講演会】

- ・会 場：全日通霞が関ビル8階大会議室B
- ・出席者：83名（実参加：17名、オンライン参加：66名）
- ・講 師：F L I N E株式会社 マルチモーダルサービスセンター長 和田信幸氏
- ・テーマ：「持続可能な物流の環境負荷軽減への取り組みについて」

#### 第二部【委員会】

- ・会 場：全日通霞が関ビル8階大会議室B
- ・出席者：21名（実参加：15名、オンライン参加：6名）

- ・議 題：
  - a. 令和2年度下期の活動報告について
  - b. 令和3年度の活動計画（案）について

委員会では、令和2年度の活動報告があった後、次年度の活動計画として、第22回物流環境大賞、第8回モーダルシフト取り組み優良事業者公表・表彰及び第20回グリーン物流パートナーシップ会議・表彰を継続実施し、講演会等を通じて表彰された優良事例の普及・促進に努めること、また、物流における環境対策をテーマとしたセミナーや連絡会等を開催し情報提供と課題の共有を図ること等が提案され、原案通り承認された。

### ③第21回物流環境大賞

物流部門における環境保全の推進や環境意識の高揚等を図るため、物流の健全な発展に貢献した団体・企業または個人を表彰することとしている。

今年度は6月8日に受賞案件の公表を行ったが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、表彰式は取り止めた。

- a. 物流環境大賞
  - ・西濃運輸株式会社
- b. 物流環境保全活動賞
  - ・北越コーポレーション株式会社／北越物流株式会社／日本紙運輸倉庫株式会社  
／エービー産業株式会社／日本貨物鉄道株式会社／センコー株式会社
  - ・日本梱包運輸倉庫株式会社／東都積水株式会社／九州積水工業株式会社  
／オーシャントランス株式会社
  - ・日本通運株式会社／TOYO TIRE 株式会社／日本貨物鉄道株式会社
- c. 物流環境啓蒙賞
  - ・クリモトロジスティクス株式会社／日本通運株式会社  
／日本パレットプール株式会社／日本貨物鉄道株式会社／協同運輸株式会社
- d. 物流環境負荷軽減技術開発賞
  - ・NEXT Logistics Japan 株式会社／アサヒグループホールディングス株式会社  
／江崎グリコ株式会社／千代田運輸株式会社／ランコム株式会社  
／株式会社ユーネットランス／日野自動車株式会社
  - ・株式会社バンテック
  - ・商船三井テクノトレード株式会社
- e. 物流環境特別賞
  - ・株式会社ニチレイロジグループ本社
  - ・三井倉庫株式会社
  - ・富士山の銘水株式会社／佐川急便株式会社／全国通運株式会社
  - ・積水化学工業株式会社／センコー株式会社

- ・株式会社日立物流
- ・コルテバ・アグリサイエンス／丸全昭和運輸株式会社／高崎通運株式会社  
／日本パレットプール株式会社／日本貨物鉄道株式会社
- ・クレシア物流株式会社／静岡運送株式会社／川崎近海汽船株式会社
- ・日本通運株式会社／日幸製菓株式会社
- ・鴻池運輸株式会社
- f. 日本物流記者会賞
  - ・ヤマト運輸株式会社

#### ④第7回モーダルシフト取組み優良事業者公表・表彰

モーダルシフトの促進に関し、物流事業者の自主的な取組みの奨励及び取組み意識の高揚を図るため、モーダルシフトを積極的に推進した優良な事業者を公表・表彰することとしている。

- ・表彰式開催日：令和2年11月11日
- ・表彰式会場：学士会館210号室
- a. モーダルシフト最優良事業者賞(大賞)
  - ・F-LINE株式会社 南関東支店 マルチモーダルサービスセンター
- b. 実行部門
  - ・フェリックス物流株式会社/三八五通運株式会社/日本石油輸送株式会社/センコー株式会社
- c. 改善部門
  - ・住鋳物流株式会社/日本通運株式会社/山九株式会社
- d. 有効活用部門
  - ・住鋳物流株式会社/日本通運株式会社/三八五通運株式会社/センコー株式会社/株式会社日立物流/王子物流株式会社/株式会社バンテック
- e. 新規開拓部門
  - ・株式会社日陸/濃飛倉庫運輸株式会社

#### ⑤第19回グリーン物流パートナーシップ会議

平成17年4月に第1回会議を開催してから16年目となり、当年は第19回目となる本会議を開催し、各賞の表彰を行った。

- ・開催日：令和2年12月16日
- ・会場：日経カンファレンスルーム：日経ビル6階
- ・出席者：約100名
- ・主催：経済産業省、国土交通省、日本ロジスティックシステム協会、日本物流団体連合会



## ⑥各種表彰事例の普及

物流環境大賞、モーダルシフト表彰（大賞）等を受けた優良事例について、会員各社における環境活動の普及・促進に資するため、講演会を開催して受賞事例の紹介等を行った。

## ⑦東京オリンピック・パラリンピックの輸送問題に関する情報収集・影響の把握

大会期間中の輸送問題に対応するため、物流連は、東京都、国、組織委員会の2020TDM（交通需要マネジメント）の取組みに協力者として参画し、最新の交通情報などを会員へ情報周知するとともに、輸送連絡調整会議に委員として参加している。

## （５）経営効率化委員会関係

### ①第1回経営効率化委員会

開催日：令和2年9月10日（木）

委員会開催に先立ち、講演会を開催した。

#### 第一部【講演会】

- ・会 場：全日通霞が関ビル8階会議室B
- ・出席者：82名（実参加：25名、オンライン参加57名）
- ・講 師：株式会社日通総合研究所 コンサルタント 大原みれい 氏
- ・テーマ：「自然災害時における物流業のBCP作成について」

#### 第二部【委員会】

- ・会 場：全日通霞が関ビル8階会議室C
- ・出席者：19名（実参加：12名、オンライン参加7名）
- ・議 題：
  - a. 令和2年度上半期活動報告
  - b. 令和2年度下半期活動予定

委員会では、外国人材活用に関する取組みについて、今年度設置した「ダイバーシテイ推進ワーキングチーム」および「外国人材の就労に関する勉強会」の活動状況が報告されたほか、新型コロナウイルスの対応動向調査の経過報告、国の各種検討会に関する情報提供等が行われた。

### ②第2回経営効率化委員会（オンライン開催）

開催日：令和3年3月5日（金）

委員会開催に先立ち、講演会を開催した。

#### 第一部【講演会】

- ・出席者：42名
- ・講師：復建調査設計(株)執行役員企画開発本部技師長 加藤 博敏氏
- ・テーマ：「海運活用によるトラック運送の輸送力確保と働き方改革」

## 第二部【委員会】

- ・出席者：20名
  - a. 令和2年度活動報告
  - b. 令和3年度活動計画(案)

委員会では、令和2年度活動報告として「ダイバーシテイ推進ワーキングチーム」および「外国人材の就労に関する勉強会」の経過報告が行われたほか、新型コロナウイルス対応動向調査の結果概要や国の各種検討会に関する情報提供等が行われた。

続いて、令和3年度活動計画（案）について、次期総合物流施策大綱を受けて、国土交通省と連携して小委員会を設置し物流標準化推進のための調査を行うこと、同大綱の推進に資するため国土交通省と連携してシンポジウムを開催すること、ダイバーシテイ推進については、外国人材活用の検討内容を整理するとともに、新たに女性活躍の推進をテーマとするワーキングチームを発足させること等が説明され、了承された。

### ③ダイバーシテイ推進ワーキングチーム（外国人材活用編）

本年度は“外国人材の活用”のテーマについて、会員企業を中心にメンバーを構成し、外国人材の活用に関わる諸制度、運用実態等の把握、先進的な事例の紹介等を通じて、外国人材活用の現状、問題点等について情報共有を図り、今後の方向性等も含め意見交換等を行った。

#### \*第1回会合

- ・開催日：令和2年8月19日（水）
- ・会場：全日通霞が関ビル8階中会議室
- ・出席者：9名（実参加：8名、オンライン参加1名）
- ・議題：
  - a. 外部講師による講演
    - ・講師：公益財団法人国際人材協力機構 上席調査役 福田綾子氏
    - ・テーマ：『外国人技能実習制度および在留資格「特定技能」について』
  - b. 質疑応答、意見交換ほか

c. 今後の進め方等について

**\*第2回会合**

- ・開催日：令和2年10月29日（木）
- ・会場：全日通霞が関ビル8階中会議室
- ・出席者：15名（実参加：13名、オンライン参加2名）
- ・議題：
  - a. ワーキングメンバーによる講演①
    - ・講師：鴻池運輸株式会社 ダイバーシテイ推進部部长 勝田 章裕氏
    - ・テーマ：外国人雇用への取り組み（技能実習制度について）
  - b. 質疑応答、意見交換ほか
  - c. 次回講演について

**\*第3回会合（オンライン開催）**

- ・開催日：令和3年1月27日（水）
- ・出席者：15名
- ・議題：
  - a. ワーキングメンバーによる講演②
    - ・講師：センコーグループHD(株)外国人就労支援担当部長 菅野 祐一氏
    - ・テーマ：技能実習制度における団体監理型ケーススタディ
  - b. 質疑応答、意見交換ほか

**④外国人材の就労に関する勉強会**

ダイバーシテイ推進の一環として、業界における今後の外国人材の就労に向けて主に制度面の検討に資するため、会員団体、企業から成る「外国人材の就労に関する勉強会」を計3回開催したほか、これまでに得た知見や課題認識等について、経済同友会 物流改革を通じた成長戦略PTと意見交換の場を設けた。

**\*第4回勉強会（書面開催）**

- ・開催日：令和2年4月14日（火）
- ・議題：2019年度活動の振り返り

**\*第5回勉強会**

- ・開催日：令和2年9月18日（金）
- ・会場：全日通霞が関ビル8階中会議室
- ・出席者：19名

- ・議 題：
  - a. これまでの振り返りとポイントの整理
  - b. 参加メンバーの取組み状況について
  - c. 国土交通省のコメント

＊第6回勉強会

- ・開催日：令和3年3月12日（金）
- ・会 場：全日通霞が関ビル8階中会議室
- ・出席者：17名
- ・議 題：
  - a. 外部講師による講演
    - ・講 師：一般社団法人 日本自動車整備振興会連合会  
人材確保対応担当部長 廣野常也氏、試験部長 志村泰夫氏
    - ・テーマ：自動車整備業界の人材不足の現状について
  - b. 質疑応答、意見交換ほか

＊経済同友会 物流改革を通じた成長戦略P Tとの意見交換会

- ・開催日：令和3年3月24日（水）
- ・会 場：アーバンネット大手町ビル21F
- ・出席者：22名（経済同友会 物流改革を通じた成長戦略P Tの10名含む）
- ・議 題：物流業界における外国人材活用に関する意見交換

**⑤物流業における新型コロナウイルス感染症への対応動向調査**

新型コロナウイルス感染症に対する会員企業の対応について、BCPの観点を中心にアンケートおよびヒアリング調査を行い、業務への影響、具体的な対策内容や今後の課題等を整理し、本年2月「物流企業における新型コロナウイルス感染症への対応動向調査報告書」としてとりまとめ公表した。

**⑥次期総合物流施策大綱の策定に向けた有識者検討会への参画**

国が、今後の物流施策のあり方について提言を得ることを目的として開催する「2020年代の総合物流施策大綱に関する検討会」に構成員として参加し、業界団体として物流業が目指す今後の方向性等について意見を述べた。

## ⑦トラック輸送の取引環境・労働時間改善等を目指す「ホワイト物流推進運動」への参画

前年度に引き続き、内閣官房の「ホワイト物流」推進会議、並びに国土交通省・厚生労働省のトラック輸送における取引環境・労働時間改善中央協議会及びトラック運送業の生産性向上協議会に委員として参加している。

## ⑧「多様な交通主体の交通ルール等の在り方に関する有識者検討会」に参加

警察庁が主催する新たなモビリティに係る交通ルール等の在り方に関する検討会に委員として参加し、実証実験が進められている自動配送ロボットの車両区分等の審議に関して、物流事業者としての考え方を反映させるべく意見を述べた。

# 2. 公益目的支出計画による事業活動

## 実施事業<継続事業>に関する事業報告

### ① <継続事業1> キャリア教育支援事業

大学生などが物流産業について理解を深める機会を提供するため、第7回物流業界インターンシップを実施した（665名の学生が参加）

### ② <継続事業2> 物流関連調査・研究事業

調査・研究として、

a. 物流業における新型コロナウイルス感染症への対応動向調査

### ③ <継続事業3> 物流の環境対応に資する活動事業

第21回目となる「物流環境大賞」については、18件41社を表彰した。

モーダルシフト取り組み優良事業者を顕彰する制度については、最優良事業者(大賞)を始めとした複数の部門賞に関し、11月に、17件13社を表彰した。

「グリーン物流パートナーシップ会議」については、経済産業省、国土交通省、日本経済団体連合会(オブザーバー)、日本ロジスティクスシステム協会の協力のもと、12月に、19回目の会議を開催し、各表彰を行った。

### ④ <継続事業4> 大学寄附講座

教育支援の一環として行っている大学寄附講座については、令和2年度は横浜国立大学でオンラインにて実施した。

横浜国立大学（オンライン開催）

毎週木曜日（10月15日～1月28日）

登録学生 220名

### 3. 広報・情報提供・出版事業等の活動

#### (1) 会員及び外部への情報提供等

##### ①「物流連懇談会」の開催

物流連は、平成24年度から、会員への情報提供や会員相互の情報交換を定期的に図る場として、年2回、物流連会員企業・団体等のトップ（代表者）を講師に招いた講演会を午餐会形式で開催している。令和2年度は、4月に第17回懇談会の開催を予定していたが、新型コロナウイルスの感染防止のため延期し、10月に開催した。

第17回懇談会は、10月2日 学士会館にて、講師に、F-LINE 株式会社代表取締役社長 深山 隆氏をお招きし、「F-LINE(株)が目指す「超・物流」戦略」と題して開催した。参加者は、69名。

##### ②「新年特別講演会」の開催

新型コロナウイルス感染防止のため取り止めた。

##### ③「講演会」「説明会」の開催

各委員会開催前に合わせて、外部講師を招いた講演会や説明会を以下のとおり実施した。

\*開催日：令和2年9月10日（経営効率化委員会）

- ・会場：全日通霞が関ビル8階会議室B
- ・出席者：82名（実参加：25名、オンライン参加57名）
- ・講師：株式会社日通総合研究所 コンサルタント 大原みれい氏
- ・テーマ：「自然災害時における物流業のBCP作成について」

\*開催日：令和2年9月16日（物流環境対策委員会）

- ・会場：全日通霞が関ビル8階大会議室B
- ・出席者：54名（実参加：22名、オンライン参加：32名）
- ・講師：西濃運輸株式会社 取締役 ロジスティクス担当 兼国際部担当  
兼東京本社担当 服部千太郎氏
- ・テーマ：「特別積合せ貨物運送事業における路線便の『運び方改革』」

\*開催日：令和2年9月25日（基本政策委員会）

- ・会場：全日通霞が関ビル8階会議室B
- ・出席者：61名（実参加：23名、オンライン参加：38名）
- ・講師：国土交通省総合政策局物流政策課長 阿部竜矢氏

- ・テーマ：「最近の物流政策について」

＊開催日：令和2年3月5日(経営効率化物委員会) (オンライン開催)

- ・出席者：42名
- ・講師：復建調査設計(株)執行役員企画開発本部技師長 加藤 博敏氏
- ・テーマ：「海運活用によるトラック運送の輸送力確保と働き方改革」

＊開催日：令和3年3月10日(物流環境対策委員会)

- ・会場：全日通霞が関ビル8階大会議室B
- ・出席者：83名(実参加：17名、オンライン参加：66名)
- ・講師：F-LINE株式会社 マルチモーダルサービスセンター長  
和田信幸氏
- ・テーマ：「持続可能な物流の環境負荷軽減への取り組みについて」

＊開催日：令和2年3月16日(基本政策委員会)

- ・会場：全日通霞が関ビル8階大会議室
- ・出席者：68名(実参加：12名、オンライン参加：56名)
- ・講師：国土交通省総合政策局物流政策課長 阿部竜矢氏
- ・テーマ：「最近の物流政策等について」

#### ④物流連「会報(Grow)」の発行

会員との双方向の情報交換に努め、令和2年度には、年4回(6月、9月、12月、3月)発行した。

#### ⑤ホームページを活用した情報発信強化

ホームページの会員専用ページを活用して、会員向けに講演会資料、各種報告書等の情報提供を実施し、会員への情報発信強化を図った。

#### ⑥「物流連のご案内」

物流連の組織や活動を紹介する「物流連のご案内」をより分かりやすく編集し、作成した。物流業界関係者に向けたアピールや、会員・賛助会員の拡大などに活用している。

また、物流事業の海外展開に対応した英語版のご案内を更新し、HPにも掲載した。

#### ⑦「物流連30年の歩み」の編纂

令和3年度に創立30周年を迎えることから、「物流連30年の歩み」の編纂作業を進めている。

## ⑧メールマガジンによる情報発信

現在、物流連のメールマガジンは1,360人強の配信登録があり、物流に関わる業界・行政等のニュースや各種統計情報、研修の案内等の情報発信を行っている。令和2年度も、概ね20日間隔で配信した。

## ⑨施設見学会

新型コロナウイルス感染防止のため取り止めた。

## (2) 出版事業

### 「数字でみる物流」の発行

我が国の物流動向（国内物流、国際物流、輸送機関別輸送、貨物流通施設、フォロワー、消費者物流、情報化等の動向）について最新数値を使い、表・グラフ等にてわかりやすく詳細に解説した、2020年度版の物流担当者必携のポケットブック「数字でみる物流」を12月に発行した。

## (3) 研修事業

### 実務講座の開催

上期、下期とも、新型コロナウイルス感染防止のため取り止めた。

## (4) 物流EDI事業

下記の業務を行うとともに、関係者に情報提供を行った。

- ・物流EDI標準「JTRN」及び「物流XML/EDI標準」の維持管理
- ・ホームページ及び物流EDIセンターメルマガを通じての情報発信及び物流EDIの普及活動
- ・サプライチェーン情報基盤研究会等のEDI標準化団体との連携及び委員会への参加を通じた他業界との交流による普及活動
- ・流通業界のEDI標準推進団体である流通BMS推進協議会への参加
- ・RFID等EDI関連技術の情報収集と物流情報化への適用事例の検討

## (5) サイバーセキュリティ関連

内閣官房内閣サイバーセキュリティセンター（NISC）が支援する重要インフラ分野（NISCが指定する13分野）の業界で構成するセプターカウンシル（重要インフラ14分野、19セプターで構成）に、物流セプター幹事として参加し、サイバ



ーセキュリティに関する業界横断的な情報交換・情報収集を行っている。令和元年11月には、NISCが主催するサイバーセキュリティに関する分野横断的演習に国土交通省、物流事業者とともに物流セプター事務局として参加した。当演習には重要インフラ13分野18セプター約4,700名が参加した。

また、国土交通省が主導する交通ISACのWGの活動（物流、鉄道、航空各分野で構成）にメンバーとして参加し、サイバーセキュリティに関する情報共有化を推進した。

## **（6）2020欧州ロジスティクス視察団の派遣**

世界的な新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、視察団の派遣を取り止めた。

# **4. 総会・役員会等の開催状況**

## **（1）総会**

### **①令和2年度 定時総会**

- ・開催日：令和2年6月29日（月）
- ・会場：第一ホテル東京 4階「フローラ」
- ・出席者：6名 委任状83名
- ・議題：【第一号議案】令和元年度決算(案)について  
【第二号議案】役員を選任を求める件について

### **②令和2年度 臨時総会（書面による臨時開催）**

- ・開催日：令和2年8月25日（火）
- ・同意書：94名
- ・議題：【第一号議案】理事の選任について

## **（2）正副会長会議**

### **①第1回正副会長会議**

- ・開催日：令和2年9月11日（金）
- ・会場：霞山会館「鹿鳴」

## **（3）理事会**

### **①第1回理事会（書面による）**

- ・開催日：令和2年5月19日（火）
- ・書面回答：29名
- ・議題：【第一号議案】令和元年度事業報告(案)について

- 【第二号議案】 令和元年度決算(案)について
- 【第三号議案】 役員候補者の選任について
- 【第四号議案】 令和2年度定時総会の招集について

## ②第2回理事会（書面による）

- ・開催日：令和2年6月29日（月）
- ・書面回答：29名
- ・議 題：【第一号議案】 役員候補者の選任について

## ③第3回理事会（書面による）

- ・開催日：令和2年6月29日（月）
- ・書面回答：29名
- ・議 題：  
【第一号議案】 正副会長、理事長、代表理事及び業務執行理事の選定について

## ④第4回理事会（書面による）

- ・開催日：令和2年8月11日（火）
- ・書面回答：29名
- ・議 題：【第一号議案】 理事の選任について

## ⑤第5回理事会

- ・開催日：令和元年11月11日（水）
- ・会 場：学士会館 320号室
- ・出席者：19名
- ・議 題：  
【第一号議案】 令和2年度事業報告(4月～10月)（案）について  
【第二号議案】 物流環境大賞表彰規程の一部改正（案）について  
【第三号議案】 テレワーク就業規則および旅費規程の一部改正（案）について  
【第四号議案】 新規会員の入会について

## ⑥第6回理事会

- ・開催日：令和3年3月25日（木）
- ・会 場：学士会館 210号室
- ・出席者：19名
- ・議 題：  
【第一号議案】 令和3年度事業計画（案）について  
【第二号議案】 令和3年度収支予算（案）について  
【第三号議案】 常勤役員に対する報酬等について

## 5. 会員の異動

会員種別	員 数		増減数
	2年度末現在	元年度末現在	
正会員(団体会員)	14	14	0
正会員(企業会員)	79	81	-2
正会員 計	93	95	0
賛助会員	54	53	+1

## Ⅱ. 業務の適正を確保するための体制の整備についての決定等

特記すべきことは無い。

## Ⅲ. 事業報告の付属明細書について

事業報告書に詳細に記載したので、特記すべきことは無い。

以上